

2024年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 実施要綱

1 目的

民間社会福祉施設等で働く介護職員、生活支援員等の職員が諸外国における福祉の最新情報や知識について学び、もってわが国の福祉サービス向上や地域福祉の推進に寄与することを目的とする。

2 実施主体

公益財団法人社会福祉振興・試験センター（以下「センター」という。）

3 研修・調査実施班及び内容

① 高齢者班

ア 研修・調査国 デンマーク

イ 研修・調査の内容

デンマークの福祉事情聴取、高齢者福祉関係施設の利用者の支援状況及び高齢者のための支援技術等

② 障害者班

ア 研修・調査国 スウェーデン

イ 研修・調査の内容

スウェーデンの福祉事情聴取、障害児・者福祉関係施設の利用者の支援状況及び障害児・者のための支援技術等

4 研修・調査実施期日

① 高齢者班

1日目 デンマークの福祉事情セミナー（LIVE）

2024年 9月20日（金）16時～18時

2日目 デンマークの高齢者関係施設見学・質疑応答等（LIVE）

2024年 9月26日（木）15時30分～18時

2024年 9月27日（金）15時30分～18時

※2日目の施設見学については、2グループに分けて実施する予定であること。

日程については、受講者決定時に通知するものとする。

② 障害者班

1日目 スウェーデンの福祉事情セミナー（LIVE）

2024年10月 2日（水）16時～18時

2日目 スウェーデンの障害者関係施設見学・質疑応答等（LIVE）

2024年10月 9日（水）16時～18時30分

2024年10月10日（木）16時～18時30分

※2日目の施設見学については、2グループに分けて実施する予定であること。
日程については、受講者決定時に通知するものとする。

5 募集人員

各班約80名

6 受講費用

3,000円

7 受講対象者

次の①～④の全てを満たす者とする。

- ① 次のア・イに掲げる民間社会福祉施設等に勤務する介護職員、生活支援員、保育士、看護師等で、各所属施設長を経て各都道府県（一部社会福祉協議会による）、指定都市、中核市の民生主管部（局）長から推薦された者。
 - ア 高齢者班（各都道府県・指定都市・中核市からの推薦）
介護報酬指定施設・事業所等
 - イ 障害者班（各都道府県・指定都市・中核市からの推薦）
自立支援給付指定施設・事業所等
- ② 研修・調査終了後も引き続き当該業務に従事する意志を有する者
- ③ 研修の全日程を受講することができる者
- ④ Zoomミーティングを利用したオンライン研修を受講できる者
（詳細は別紙1「オンライン研修受講にあたっての注意事項」参照）

8 申込方法

受講希望者は、所定の受講申込書を推薦主体（前記7①）に提出すること。

9 申込締切

申込締切日については、推薦主体からの案内を確認すること。

（※各推薦主体からセンターへの推薦締切は2024年7月10日（水）であること。）

10 受講者の決定及び通知

受講者は、前記7により都道府県（一部社会福祉協議会による）、指定都市、中核市の民生主管部（局）の長より推薦された受講希望者の中から、センターにおいて別紙2「民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査受講者選考基準」により選考のうえ決定し、その結果を当該民生主管部（局）長及び各所属施設長あて通知するものとする。

なお、受講が決定した者には、受講方法等について個別に案内するため、申込書に

は必ず受信できるEメールアドレスを記載すること。

11 レポートの提出について

- ① 受講者は、オンライン研修終了後に所定のレポートを提出するものとする。
- ② レポートはセンターにて取りまとめる。また、センターのホームページや関係雑誌にレポートの内容等を掲載する場合がある。

12 研修の成果について

受講者は、研修の成果について、所属施設並びに地域等において幅広く伝えるように努め、福祉サービス及び地域福祉活動の向上に寄与するものとする。

13 その他

- ① 提出された書類は一切返却しないものとする。
- ② オンライン研修を受講できる環境の整備（受講場所やパソコンの用意、通信環境等の整備）は受講者本人または受講者の所属施設で準備するものとする。
- ③ センター内の記録のため研修内容を録画する予定であること。

オンライン研修受講にあたっての注意事項

1. 受講者に必要な利用設備環境

オンライン研修受講にあたっては、下記の環境の用意が必要です。

(1) 使用機材

- ① アプリケーション: Zoom ミーティング/ Zoom ウェビナー(※1)
事前にアプリケーションをダウンロードの上、接続確認を行ってください。
- ② 機材: パソコン(※2)
カメラ機能・マイク機能があるもの
(音声/映像が明瞭に聞こえかつ送れるもの)

(2) 環境要件<ZoomHP より作成>

機材・環境	内容	
パソコン(※2)	OS	Windows7以降、macOS10.9以降
	CPU	デュアルコア2Ghz以上(Core i3~,AMD)
	メモリ(RAM)	4GB以上
	その他	内蔵カメラ・マイク等 (なければ Web カメラ及びマイクの接続が必要です)
	アプリ	Zoom アプリの事前ダウンロードが必要です
インターネット回線(※3)	通信容量が無制限等で長時間安定して映像・音声等の視聴が可能なこと。	
静かな環境	周囲の音を拾わないようできるだけ静かな環境でご参加ください。	

※1 Zoomのホームページで事前接続確認ができます。環境要件に不安な点がある場合はご確認ください。(URL:Zoom.us/test)

※2 タブレット及びスマートフォンでのご参加は推奨いたしません。

やむを得ず使用する場合はグループワークを実施するため大きい画面のものを推奨します。
環境要件はZoomホームページをご確認ください。

※3 インターネット回線の通信費については、ご参加者様の負担となります。

2. 注意事項

- ① ご自身のパソコン等機器やインターネット回線の不具合等により、ご参加いただけなかった場合は、責任を負いかねます。事前に受講環境をご確認の上、ご参加ください。
- ② 研修内容の撮影・録画・録音・画面のスクリーンショット、および研修資料の二次利用は固くお断りいたします。
- ③ 研修の内容を当センターで録画をさせていただく予定です。録画内容は、研修実施に関する目的以外での利用はいたしません。あらかじめご了承ください。

(別紙2)

2024年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講者選考基準

都道府県・政令指定都市・中核市等からの推薦者に対し、海外研修の普及効果等を考慮の上、下記の基準項目により受講者を選考することとする。

(選考の基準項目)

- ・ 実施要綱上の受講対象者の条件を満たしている者
- ・ 社会福祉振興・試験センターの行うオンライン海外研修に参加した経験のある者は、未参加の申込者に劣後する
(過去の参加者が応募すること自体は問題ない)
- ・ 同一法人内で複数名応募した場合は、法人内で1名とすることがある
- ・ 各都道府県・政令指定都市・中核市を平準化させる
- ・ 推薦理由、応募動機、経験年数、資格等を考慮する

2024年度民間社会福祉施設職員等 オンライン海外研修・調査（高齢者班）

研修のテーマ・企画ポイント

～ 高齢者の自立生活を支えるデンマークの高齢者福祉 ～

◎ デンマークの充実した社会福祉サービスについて、日本と比較しながら解説します！

- ・ デンマークの高齢者介護システム
プライエム（特別養護老人ホーム）からプライエポーリ（介護職員付住宅）へ
「施設から在宅への移行」について
- ・ デンマーク流認知症対策
「認知症コーディネーター」「認知症カフェ」「パーソン・センタード・ケア」「回想法」
五感を刺激する介護ロボット等
- ・ エイジング・イン・プレイスとクオリティ・オブ・ライフ、高齢者三原則
- ・ デンマークの年金制度（国民年金・労働市場付加年金・早期退職年金）

1日目：講義

実施日時 2024年9月20日（金）

日本時間 16:00～18:00

デンマークの基礎知識・社会福祉の沿革について
日本と比較しながら解説します!!

- ☆デンマークの高齢者福祉の概要、歴史、文化的背景
- ☆プライエムからプライエポーリへ
- ☆エイジング・イン・プレイス
（住み慣れた地域で、自分らしく最期まで）
- ☆ホームドクターシステム・家族介護サポート
高齢者の食事と栄養・職員教育等
- ☆2日目の高齢者施設の概要
- ☆質疑応答

2日目：施設視察

実施日時 2024年9月26日（木）

2024年9月27日（金）

日本時間 15:30～18:00

実際に行っている具体的なケアについて
施設長・スタッフとライブ中継で解説します!!

- ☆デンマーク流認知症対策について
（事前に録画したビデオをご覧ください）
- ☆QOLについて高齢者施設とライブ中継をします。
- ☆受講者と施設長・スタッフの質疑応答の時間があります。
- ※ 2グループに分けて実施する予定です。日程については決定通知でご確認ください。
- ※ 最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

コーディネーター・通訳

三浦 久子 氏



デンマーク在住歴27年で、
デンマークの高齢者福祉や障害者福祉、
幼児保育等のコーディネーター・アシスタント業務を
長年担当しています。

また、デンマーク公認ガイドとして、日本語でデンマークの街並みを
紹介するなど、ガイド・コーディネーターとしても活動しています。

近年では、福祉についてのオンラインセミナー研修も担当しており、
幅広く活躍しています。

視察先施設「デメンスセンター ビーレフセット」
高齢者住宅・認知症ケアハウス・デイケア施設

一般的な高齢者住宅と、認知症の市民の為のケアハウス、デイケア施設からなる複合施設です。
入居者124人中100名が認知症高齢者という認知症に特化した施設で、ハンチントン病、アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症について専門知識をもっています。

大きな公園の中に施設が建てられており、また施設の中にも庭園があるため、入居者は花を眺めながら散歩をしたり常に緑に囲まれた環境でリラックスしながら過ごすことができます。



オンライン会議システム
「Zoom」を使用します。

2024年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『ノーマライゼーション先進国』スウェーデンの障害者福祉とはー

研修のテーマ・企画ポイント

『福祉先進国』として名高いスウェーデンの障害者福祉は実際どのように機能しているのでしょうか。ノーマライゼーションの考え方が社会に浸透し、「自己決定」と「自立支援」に重きを置くという、この国ならではの概念に基づいたケア方法、アプローチの仕方、そして福祉サービスについて、分かりやすく解説します。

- 1 過去リアル版の海外研修・調査に同行し、大変好評を得ているコーディネーター兼通訳の**エミル・オストベリ氏** がご案内します。
- 2 施設見学の回では、重度の自閉症の方のためのデイアクティビティセンターで取り入れている様々なケア方法について具体的にご紹介します。
- 3 実際の視察さながらに施設の雰囲気を感じられるよう、訪問者目線のビデオで施設内の様子をご覧ください。
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場で働くスタッフとリアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

エミル・オストベリ氏



オンライン研修の
経験も豊富！

スウェーデンを訪れる日本の視察団の通訳・講義を行う他、年に数回日本を訪れ、スウェーデン大使館・大学・病院などで自らの流暢な日本語を駆使し、スウェーデンにおける高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉についての講演活動を行っている。



1日目：エミル氏講義

日時：2024年10月2日(水)
日本時間 16:00~18:00

テーマ スウェーデン障害児・者福祉の現状

- スウェーデン障害児・者福祉の概要とその発展の歴史について説明
- ケアが必要な障害児・者へのサポートについて
・ハビリテーションセンター・補助器具
・ハウスアダプテーション・教育システム
・グループホーム、サービス住宅、デイアクティビティセンター
・パーソナルアシスタントサービス
- 2日目の障害者施設概要説明
(事前に録画したビデオをご覧ください)
- 質疑応答

2日目：障害者施設見学

日時：2024年10月9日(水) / 10月10日(木)
日本時間 16:00~18:30

- ※2グループに分けて実施する予定です。日程については決定通知でご確認ください。
- ※最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

テーマ デイアクティビティセンターにおける 重度心身障害児・者への支援について

- 施設で実践している様々なケアについて
スヌーズレン/健康生成論/低刺激対応
アクティビティ/自立支援 など
(施設職員がご説明します)
- 質疑応答

【見学施設一例】

Sjöängen <ホーエンゲン>



重度の自閉症の方のためのデイアクティビティセンター。TEACCHプログラムを採用している。

- スヌーズレンルーム(白の部屋)

※見学施設名の確定は2週間前頃となります。

健康生成論

重度の障害があったとしても、一個人として精神面の健康を得るために生活における様々な活動の目的を理解し、自身で判断できるように促すこと

低刺激対応

自閉症や認知症の患者が興奮しないよう、落ち着いた働き方を実践

オンライン会議システム「Zoom」を使用します

